



富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、わたしたちの住む中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地には「井戸尻(勝坂)文化」と呼ばれる独特の暮らしがありました。ここで発見された、石器、土器、土偶や、郷土の芸能、祭り等から、その文化にふれ、縄文時代像の変遷をたどります。宇宙・生命の誕生から現在まで、世界の神話・暮らしも参考にして、広い視野で考えてみましょう。

**講師紹介 藤森寛行「スワニズムミシャグジ探偵」**

1962 年生まれ 東京都日野市在住  
 信州諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism (スワニズム) で、諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻文化について研究している。  
 日野市立南平児童館職員



屋敷山遺跡出土面装飾 (武蔵村山市)

**2024 年 第一期講座のテーマ**  
 郷土の資料館で感じる考える

- ① 4/6 (土) 武蔵村山市立歴史民俗資料館
- ② 5/11 (土) 立川市歴史民俗資料館
- ③ 6/9 (日) 調布市郷土博物館 ※詳細は別途お知らせします

ベース 社会教育協会「ゆうりか」  
 (JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)

受講料 4,950円 3回・1回分1,800円 (保険料・消費税含)

申込み 下記の電話か FAX でお願いします  
 TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626

対象 どなたでも

主催 公益財団法人 社会教育協会

〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル3階

<http://www.zaidan-shakyo.org>

